

衛生委員会議事録（84回）

日時	2024年10月10日 15:00																									
場所	ビデオ会議																									
出席者	委員長	-																								
	産業医	諏訪内医師																								
	衛生管理者	人事総務部 並木/坂倉																								
	事務局	人事総務部 並木																								
	委員	教育企画部 湯田																								
議題	<p style="text-align: center;">＜インフルエンザについて＞</p> <p style="text-align: center; color: #e67e22; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">インフルエンザの症状とは</p> <p style="font-size: 0.8em;">インフルエンザと風邪は、のどの痛みや咳(せき)などよく似た症状がありますが、風邪とインフルエンザは、症状も流行の時期も違います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">インフルエンザ</th> <th style="width: 40%;">風邪</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: left;">症状</td> <td>38度以上の発熱</td> <td>発熱</td> </tr> <tr> <td>全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛など)</td> <td>局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)</td> </tr> <tr> <td>局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)</td> <td>比較的ゆっくり発症</td> </tr> <tr> <td>急激に発症</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">流行の時期</td> <td>12月～2月がピーク ※4月、5月まで散発的に続くことも</td> <td>年間を通じて。特に季節の変わり目や疲れているときなど</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">・インフルエンザの種類</p> <p>A型、B型、C型があり、年によって流行するウイルスが異なります。特にA型、B型の感染力はとても強く、日本では毎年約1千万人、およそ10人に1人が感染しています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #2980b9; color: white;"> <th style="font-size: 0.8em;">重症化する危険が高い人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="font-size: 0.8em;">高齢者</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">幼児</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">妊娠中の女性</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">持病のある方</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">喘息のある人</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">慢性呼吸器疾患(COPD)</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">慢性心疾患のある人</td></tr> <tr><td style="font-size: 0.8em;">糖尿病など代謝性疾患のある人など</td></tr> </tbody> </table>			インフルエンザ	風邪	症状	38度以上の発熱	発熱	全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛など)	局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)	局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)	比較的ゆっくり発症	急激に発症		流行の時期	12月～2月がピーク ※4月、5月まで散発的に続くことも	年間を通じて。特に季節の変わり目や疲れているときなど	重症化する危険が高い人	高齢者	幼児	妊娠中の女性	持病のある方	喘息のある人	慢性呼吸器疾患(COPD)	慢性心疾患のある人	糖尿病など代謝性疾患のある人など
	インフルエンザ	風邪																								
症状	38度以上の発熱	発熱																								
	全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛など)	局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)																								
	局所症状(のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など)	比較的ゆっくり発症																								
	急激に発症																									
流行の時期	12月～2月がピーク ※4月、5月まで散発的に続くことも	年間を通じて。特に季節の変わり目や疲れているときなど																								
重症化する危険が高い人																										
高齢者																										
幼児																										
妊娠中の女性																										
持病のある方																										
喘息のある人																										
慢性呼吸器疾患(COPD)																										
慢性心疾患のある人																										
糖尿病など代謝性疾患のある人など																										

・感染経路

感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」

インフルエンザがどのようにして感染するのかを知っておきましょう。

飛沫感染

(1) 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出

↓

(2) 別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染



※主な感染場所
学校や職場、満員電車などの人が多く集まる場所

接触感染

(1) 感染者がくしゃみや咳を手で押さえる

↓


(2) その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く

↓

(3) 別の人が、その物に触って、ウイルスが手に付着

↓

(4) その手で口や鼻を触って粘膜から感染



※主な感染場所
電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

インフルエンザを予防するためには、こうした感染経路を絶つことが重要です。

・ワクチン

積極的な接種を心がけましょう。

ワクチンによる予防

※特にハイリスク群は、重症化を防ぐためにも医師と相談の上、早めに接種することが望ましいと考えられます。

ワクチンを接種することでインフルエンザへの感染または重症化の予防となります。ただし、ワクチン用のウイルスは孵化鶏卵で培養するため、卵などにアレルギー、けいれんの既往症、免疫不全のある人、熱を出している場合などには接種できないことがあるので、医師に相談してください。

ワクチン接種のタイムスケジュール

- ・インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかります。流行期間が12～3月ですから、11月中旬頃までには接種を終えておくことより効果的でしょう。また、流行してからの接種は、抗体価が十分上がる前に感染する危険性がありますが、抗体価が上昇していれば症状が軽くなります。

▼ワクチン接種のタイムスケジュール

